

## 常陸太田ロータリークラブ

HITACHI-OTA ROTARY CLUB

R I 第2820地区

No.13834

(1960年1月13日設立)



R I 会長方針



会 長 塩原 吉博  
 例 会 場 常陽銀行太田支店2F  
 例 会 日 毎週水曜日/12:10~13:10  
 最終例会18:30 レストランばんび  
 会報委員 鹿志村 勇夫・篠原 啓一・木村 幸裕

(先週例会) 2017年11月22日 NO. 16

(本日例会) 2017年12月6日例会 (通算NO. 2822)

## 本日のプログラム(12月1日)

- ◎ 月例セレモニー ◎ 会長タイム
- ◎ 幹事・副幹事報告 ◎ 委員会報告
- ◎ ロータリーの友から

## ◎ ゲスト紹介

茨城県赤十字血液センター 斉須 祐樹 様  
 米山奨学生 洪 曦 さん

## ◎ 会長タイム (塩原吉博会長)

こんばんは。斉須さん、卓話においでいただきありがとうございます。また、献血事業では毎年お世話になっております。今後ともよろしく願いいたします。

先週木曜日に常陸太田特別支援学校で、ロータリークラブ主催の日立交響楽団のコンサートを行いました。黒沢会員も演奏者として参加されました。担当は青少年奉仕委員会で、塩原拓海委員長が参加されました。素晴らしいコンサートで、感動しました。このことについて黒沢さんは一生懸命PRされていたのですが、こちらの不手際で塩原さん、和田さん、私と参加は3名だけで残念でした。生の音楽のすばらしさは、素直な感性の生徒さんの胸に響く良いコンサートだったのでな

いかと自負しております。そこに支援できたことは大変な喜びであります。支援金の5万円は恥ずかしいような金額で、団員の方にはまさに手弁当で演奏していただきました。

この企画は、黒沢年度、草野年度と3年越しで実現しました。特別支援学校の開校の時から何らかの支援を考えていましたが、学校側の都合等があり3年越しになりました。この件だけでなく、これまでもテニス大会等学校側の事情について勉強不足の面を感じます。いろいろなことを考え、勉強し、考慮したうえでの奉仕でないと善意の押し付けになる可能性を秘めています。そういうことも考えながら今後の奉仕活動をしていきたいと思っております。

## ◎ 幹事報告 (岩間幹事)

- ① かわねやさん、本日はオープンおめでとうございます。クラブよりお花をお贈りしました。
- ② 12/10社会奉仕・R財団合同セミナー  
多賀野財団委員長が都合が悪く出席できません。代わりに出席していただける方を探しております。ご協力お願いします。
- ③ 11/29 休会
- ④ 公式訪問の時からお預かりしておりました名札を次回お渡しします。申し訳ありません。

## ◎ 副幹事報告（石川重信副幹事）

本日は斉須様卓話ありがとうございます。大谷さん、オープンおめでとうございます。

## ◎ 米山奨学金授与・誕生祝贈呈

塩原会長より中国語で「洪さん、誕生日おめでとう」の言葉とともに花束の贈呈。

## ◎ 委員会報告

### 社会奉仕委員会（大谷委員長）

来年1/18に行われる講演会のチラシができました。皆さんには次回お配りします。皆さんのご参加と、参加の動員のご協力をお願いいたします。市内小中学校20校に生徒さんの数のチラシを送りましたが、参加人数の把握ができません。良いお話が聞けるとお思いますので、ぜひ多くの方にお声掛けをお願いいたします。

テーマ 「『弁当の日』で何が育つか」

講師 竹下和男先生

日時 平成30年1月18日(木) PM1:30～

場所 生涯学習センターふれあいホール

☆本日木崎本店をオープンすることができました。

立派なお祝いのお花をいただき御礼申し上げます。

☆12/8 ワインを楽しむ夕べ ばんび 19:00～

### ロータリー財団委員会（多賀野委員長）

財団寄付のお願いをします。まだお申込みいただいていない方はぜひよろしくお願ひします。今月号のロータリーの友RI会長メッセージを読んでいただければと思います。

## ◎ 卓話（斉須祐樹様）

常陸太田ロータリークラブの皆様には献血事業に対し厚いご協力をいただきまして御礼申し上げます。また先月31日のかわねやフェスタ店様をお借りしての献血ではお陰様でたくさんのご協力をいただきましてありがとうございました。

### 《最近の献血状況につきまして》

- ・献血とは、病気やけがで輸血を必要としている患者さんのために、健康な人が自分の血液を少しだけ提供するボランティアです。(16才～)
- ・患者さんに血液製剤が届くまで  
献血場所へ⇒問診⇒献血⇒検査施設(埼玉県)での検査⇒茨城へ戻り血液センターで血液製剤を製造・保管⇒24時間体制で供給
- ・輸血の状況  
8割以上が病気の方への輸血。8割が50歳以上

の方へ輸血。1日平均3000人が輸血を必要とする。人工的に作る事ができず、長期間の保存ができないために、毎日安定的な献血協力の必要がある。

- ・県内の献血者推移

H23をピークに減り続け、昨年度は10万人を割る。10代から30代の協力が減っており、50代・60代が増加。

- ・献血推進2020(厚生労働省)

10代から30代の献血者を増加させる。

- ・現状と課題

輸血を最も必要とする人口の増加。30代以下の人口が減少する中特に10代の献血者の割合が減少。輸血に必要な血液が不足する可能性がある。

- ・今後必要なこと

若年層の献血協力者を増加させる。複数回協力いただける方を増加させる。集団的に協力いただける団体を増加させる。

## ◎ 米山記念館訪問報告（大森会員）

## ◎ ニコニコボックス（小倉委員長）

### 共通テーマ

「かわねやさんオープンおめでとうございます。いよいよ師走、また頑張っていきましょう。」

11名

### 自由テーマ（敬称略）

「新社屋完成、木崎本店オープンの

お祝をいただいて。」大谷

「かわねやさん、木崎店グランドオープン

おめでとうございます。」和田、小坪

「洪さん誕生日おめでとう。」塩原吉博

「11/17に小坪、富永、大森の3家族で

米山梅吉記念館を訪問しました。」大森

今週計 21,000円

累計 558,260円

## ◎ 出席委員会報告（中郡委員長）

全会員数	出席者数	免除者欠席数	出席率
32名	18名(mu-)	2名	60.00%

前週訂正出席率 --.-%(メイクアップ -名)